

新規事業採択時評価結果（平成17年度新規事業化箇所）

担当課：
担当課長名：

事業名	主要地方道 大山崎大枝線	事業区分	主要地方道	事業主体	京 都 府
起終点	自：京都府 乙訓郡 大山崎町 下植野 至：京都府 長岡京市 下海印寺			延長	1.7 km

事業概要
 主要地方道大山崎大枝線は、国道9号と国道171号を結ぶ第2次緊急輸送道路にも指定されている主要な幹線道路であり、京都都市圏の環状道路として重要な役割を担っているばかりか、向日市・長岡京市及び大山崎町の産業・生活基盤を支える重要な路線である。本事業は、現在事業中である幹線道路の京都第二外環状道路と一体となった整備を行いながら、JRと阪急の鉄道交差の高さ制限の解消による大型車の往来を可能にし、地域の幹線道路網の南北軸の整備を進めるものである。

事業の目的、必要性
 現道部は、幅員狭小で線形も悪く、JRや阪急の鉄道交差部においては桁下高さ制限のため大型車の通行が不可能であり、歩道の未整備区間が連続的に存在している。これらを解消することで、自動車、歩行者等の安全で円滑な交通に資する。

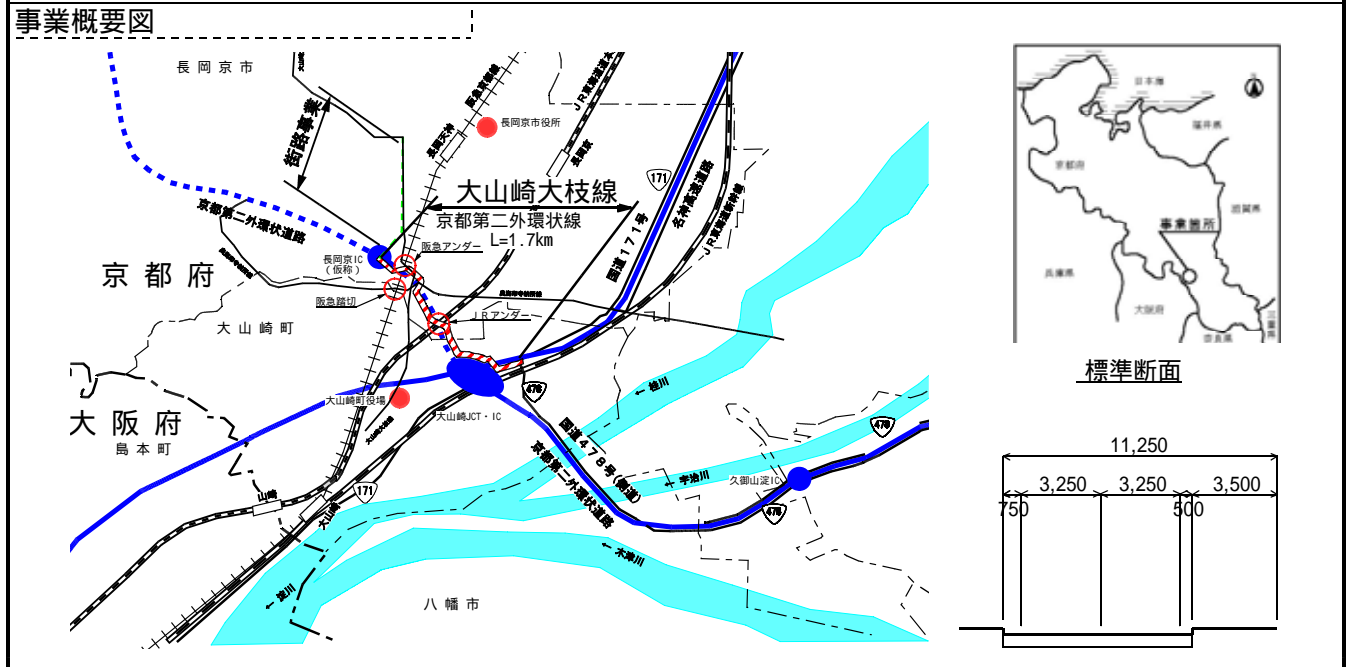
全体事業費	70 億円	計画交通量	7,500 台/日
費用対効果分析結果	B / C	総費用	総便益
	1.9	50 億円 （事業費：49 億円 維持管理費：1 億円）	94 億円 （走行時間短縮便益：86 億円 走行費用減少便益：7 億円 交通事故減少便益：1 億円）
			基準年：平成16年

事業の効果等

- 交通の円滑化
- 安全性・信頼性の向上
- 地域づくりの支援

- ・ 輻輳する交差点の整備（調子八角交差点）による交通の円滑化。
- ・ 通行危険箇所（阪急調子踏切）及び通行制限箇所（阪急・JR交差部）の解消による交通の安全性の確保。
- ・ 緊急輸送道路としての信頼性向上。
- ・ 広域交通を担うとともに、新しいまちづくりの骨格となる幹線道路として周辺地域の活性化を支援。
- ・ 地域における消防・救急活動の広域化や迅速化に寄与。

関係する地方公共団体等の意見
 ・ 関係市町から毎年要望あり



総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。